

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

新宿区

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

26人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

都心であることから利便性が高く、マンション等の建設も相次いでいることにより、人口が流入している。
また、家賃等が高いため共働き世帯の割合が高く、学童クラブの利用対象となる児童が増えている。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

区有施設の活用や、民間物件の借り上げ等を行い、新たな学童クラブの活動場所を確保する。
また、学童クラブ機能付き放課後子どもひろば「ひろばプラス」を実施することで、多様化する家庭環境や子供の成長段階にあった放課後の居場所が選択できるようにする。

(2) 具体策

今後、学童クラブの登録者数がさらに増加する可能性を考慮し、現時点で活用可能な区有施設及び民間物件の学童クラブへの活用を推進する。また、教育委員会と綿密な調整を行い、さらなる拡充を検討する。
ア 柏木小学校内の空きスペースを活用することにより、学童クラブスペースを整備する。北新宿第一学童クラブの実施場所が、北新宿第一児童館内と柏木小学校内の2か所となり、名称を柏木小学校内学童クラブに変更する。
イ 鶴巻小学校内の空きスペースを活用することにより、学童クラブスペースを整備し、鶴巻小学校内学童クラブの実施場所を追加する。
ウ 余丁町小学校近隣の民間賃貸物件を活用することにより、学童クラブスペースを整備し、余丁町学童クラブを新設する。
エ 落合第四小学校内の空きスペースを活用することにより、学童クラブスペースを整備し、落合第四小学校内学童クラブの実施場所を追加する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

実施場所の拡充により待機児童数が減り、定員超過となっている現状の緩和がなされる。
また、利用児童の環境が改善され、より望ましい保育が行える。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	10,753	10,805	10,928
増減	—	52	123
登録児童数	2,196	2,241	2,397
増減	—	45	156
待機児童数	41	27	25
増減	—	(14)	(2)

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計	
小学生児童数	10,843	10,742	10,535	10,294		
増減	(85)	(101)	(207)	(241)		
申込児童数	2,397	2,479	2,512	2,535		
増減	—	82	33	23		
登録児童数	2,371	2,479	2,512	2,535		
増減	(26)	108	33	23		
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	左記2(2)ア～エのとおり。					
待機児童数	26	0	0	0		
増減	1	(26)	0	0		(25)